

一日

しづかな朝の
階段のすみから 飛び立つた小さい蛾
こびるやうに僕のズボンにまつはる
しめつた黒いコンクリートの伽藍
お前は悲しいのか
ゆうべの僕の絶望を知つてゐるのか
やさしく ちりちり
銀の羽をうちふるはせ
どうしろといふのだらう

なぐさめてくれてゐるのか
僕は机の前に坐り 一日
事務をとつた

夜 僕は自分の机の前に坐り
蛾のことを考へてゐた

明日こそ
別のことがあるだらう
美しい別のことが